

注3

大学番号：私255

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

神戸女子大学 看護学部

注2

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人行吉学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 ポートアイランドキャンパス事務部

職名・氏名 シムフチョウ 事務部長 ・ シゲトウ 重藤 ミエコ 美江子

電話番号 078-303-4700

（夜間） 078-303-4717

F A X 078-303-4703

e-mail shige@yg.kobe-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出

について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	24
6. 留意事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人行吉学園

(2) 大学名

神戸女子大学

(3) 大学の位置

〒650-0046

兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号

(〒654-8585 兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ユキヨシ トモユキ) 行吉 誠之 (平成18年4月)		
学長	(ナカシマ ミノル) 中島 實 (平成25年4月)		
学部長	(ノナミ ヨウコ) 野並 葉子 (平成27年4月)		
学科長等	(ノナミ ヨウコ) 野並 葉子 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-人	80人 (-) [-]	-人	80人 (-) [-]	-人	80人 () []		1.11倍	
志願者数	1055 (-) [-]	-	1235 (-) [-]	-	1593 (-) [-]	-	1865 () []			
受験者数	1039 (-) [-]	-	1212 (-) [-]	-	1588 (-) [-]	-	1852 () []			
合格者数	146 (-) [-]	-	209 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	192 () []			
B 入学者数	86 (-) [-]	-	92 (-) [-]	-	91 (-) [-]	-	88 () []			
入学定員超過率 B/A	1.07		1.15		1.13		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	86 [-] (-)	- [-] (-)	92 [-] (-)	- [-] (-)	91 [-] (-)	- [-] (-)	88 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		86 [-] (-)	- [-] (-)	90 [-] (-)	- [-] (-)	91 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		85 [-] (-)	- [-] (-)	90 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		83 [-] (-)	- [-] (-)	
計	86 [-] (-)		178 [-] (-)		266 [-] (-)		352 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	86人	0人	平成27年度	0人	—人	
平成28年度	178人	3人	平成27年度	1人	—人	就学意欲の低下(1人)
			平成28年度	2人	—人	他の教育機関への入学・転学(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
平成29年度	266人	2人	平成27年度	2人	—人	就学意欲の低下(1人) 除籍(1人)
			平成28年度	0人	—人	
			平成29年度	0人	—人	
平成30年度	352人	0人	平成27年度	0人	—人	
			平成28年度	0人	—人	
			平成29年度	0人	—人	
			平成30年度	0人	—人	
合計	882人	5人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{178} = \boxed{1.68} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{266} = \boxed{0.75} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{352} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基幹科目	基礎Ⅰ	1前	2		3								
	基礎Ⅱ	1後	2									1	
	基礎Ⅲ	2前	2		1								
	女性	女性Ⅰ	1前	2									1
		女性Ⅱ	1後	2									1
		女性Ⅲ	1前	2									6
		女性Ⅳ	1後	2									1
	地域	神戸学	1前	2									7
		地域学習	1通	2				1					
	英語	英語Ⅰ-1	1前	1									2
		英語Ⅰ-2	1後	1									2
		英語Ⅱ-1	1前	1									2
英語Ⅱ-2		1後	1									2	
外国語コミュニケーションⅠ		1前	1									1	
外国語コミュニケーションⅡ		1後	1									1	
教養英語Ⅰ-1		1前	1									1	
教養英語Ⅰ-2		1後	1									1	
教養英語Ⅱ-1		1前	1									1	
教養英語Ⅱ-2		1後	1									1	
語学科目(世界の言語)	ドイツ語Ⅰ-1	1前	1									1	
	ドイツ語Ⅰ-2	1後	1									1	
	ドイツ語会話Ⅰ	1後	1									1	
	ドイツ語講読Ⅰ	2前	1									1	
	フランス語Ⅰ-1	1前	1									1	
	フランス語Ⅰ-2	1後	1									1	
	フランス語会話Ⅰ	1後	1									1	
	フランス語講読Ⅰ	2前	1									1	
	中国語Ⅰ-1	1前	1									1	
	中国語Ⅰ-2	1後	1									1	
	中国語会話Ⅰ	1後	1									1	
	中国語講読Ⅰ	2前	1									1	
	朝鮮語Ⅰ-1	1前	1									1	
	朝鮮語Ⅰ-2	1後	1									1	
	朝鮮語会話Ⅰ	1後	1									1	
	朝鮮語講読Ⅰ	2前	1									1	
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1									1	
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1									1	
	イタリア語会話Ⅰ	1後	1									1	
	イタリア語講読Ⅰ	2前	1									1	
情報科目	情報Ⅰ	1前	2									2	
	情報Ⅱ	1後	2									1	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1									1	
	スポーツと健康の科学	1前	2									1	
	スポーツ実技Ⅰ-1	1後	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-2	2前	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-3	2後	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-4	3前	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-5	3後	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-6	4前	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-7	4後	1									3	
	スポーツ実技Ⅱ-A	1後	1									1	
	スポーツ実技Ⅱ-B	2後	1									1	
	スポーツ実技Ⅱ-C	3後	1									1	
	スポーツ実技Ⅱ-D	4後	1									1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基幹科目	基礎Ⅰ	1前	2		3								
	基礎Ⅱ	1後	2									1	
	基礎Ⅲ	2前	2		1								
	女性	女性Ⅰ	1前	2									1
		女性Ⅱ	1後	2									1
		女性Ⅲ	1前	2									7
		女性Ⅳ	1後	2									1
	地域	神戸学(未開講)	1前	2									
		地域学習	1通	2					1				
	英語	英語Ⅰ-1	1前	1									2
		英語Ⅰ-2	1後	1									2
		英語Ⅱ-1	1前	1									2
英語Ⅱ-2		1後	1									2	
外国語コミュニケーションⅠ		1前	1									2	
外国語コミュニケーションⅡ		1後	1									2	
教養英語Ⅰ-1		1前	1									1	
教養英語Ⅰ-2		1後	1									1	
教養英語Ⅱ-1		1前	1									1	
教養英語Ⅱ-2		1後	1									1	
語学科目(世界の言語)	ドイツ語Ⅰ-1	1前	1									1	
	ドイツ語Ⅰ-2	1後	1									1	
	ドイツ語会話Ⅰ	1後	1									1	
	ドイツ語講読Ⅰ	2前	1									1	
	フランス語Ⅰ-1	1前	1									1	
	フランス語Ⅰ-2	1後	1									1	
	フランス語会話Ⅰ	1後	1									1	
	フランス語講読Ⅰ	2前	1									1	
	中国語Ⅰ-1	1前	1									1	
	中国語Ⅰ-2	1後	1									1	
	中国語会話Ⅰ	1後	1									1	
	中国語講読Ⅰ	2前	1									1	
	朝鮮語Ⅰ-1	1前	1									1	
	朝鮮語Ⅰ-2	1後	1									1	
	朝鮮語会話Ⅰ	1後	1									1	
	朝鮮語講読Ⅰ	2前	1									1	
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1									1	
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1									1	
	イタリア語会話Ⅰ	1後	1									1	
	イタリア語講読Ⅰ	2前	1									1	
情報科目	情報Ⅰ	1前	2									2	
	情報Ⅱ	1後	2									1	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1									1	
	スポーツと健康の科学	1前	2									1	
	スポーツ実技Ⅰ-1	1後	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-2	2前	1									4	
	スポーツ実技Ⅰ-3	2後	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-4	3前	1									4	
	スポーツ実技Ⅰ-5	3後	1									3	
	スポーツ実技Ⅰ-6	4前	1									4	
	スポーツ実技Ⅰ-7	4後	1									3	
	スポーツ実技Ⅱ-A	1後	1									3	
	スポーツ実技Ⅱ-B	2後	1									3	
	スポーツ実技Ⅱ-C	3後	1									3	
	スポーツ実技Ⅱ-D	4後	1									3	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教養科目	人・思想	哲学	1前	2								1
	宗教	1前	2									1
	人・心の発達	心理学 I	1前	2								1
		心とからだの健康	1後	2								6
	言葉と文学	言葉と文学 I	1前	2								1
		言葉と文学 II	1後	2								1
		言葉と文学 III	1後	2								1
	歴史	歴史 I	1前	2								1
		歴史 II	1後	2								1
		歴史 III	1後	2								1
	現代社会	日本国憲法	1前	2								1
		現代社会 I	1後	2								1
		現代社会 II	1前	2								1
		現代社会 III	1後	2								1
		現代社会 IV	1後	2								1
		現代社会 V	1前	2								11
	数学	数学 I	1後	2								1
		数学 II	1前	2								1
	自然と環境	自然と環境 I	1後	2								1
		自然と環境 II	1前	2								1
	芸術	芸術 I	1前	2								1
		芸術 II	1前	2								1
	衣・食・住	衣・食・住 I	1前	2								2
		衣・食・住 II	1後	2								1
教養総合科目	教養総合 I	1前	2								1	
	教養総合 II	1後	2								1	
	教養総合 III	2前	2								1	
	教養総合 IV	2後	2								1	
	教養総合 V	3前	2								1	
	教養総合 VI	3後	2								1	
	教養総合 VII	4前	2								1	
	教養総合 VIII	4後	2								1	
専門科目	基礎専門科目	特別生物	1前	2								1
		特別化学	1前	2								1
		生命倫理	1後	2								1
		発達心理学	1前	2								1
		医療と法	1後	1								1
		コミュニケーション論(表現学)	1後	2								1
		食品学総論	1後	2								1
		栄養代謝学	2後	1								1
		フィジカルフィットネス	2後	1								1
		薬理学	2前	1								1
		社会福祉・社会保障論	2前	1								1
		社会福祉・社会活動論	3後	1								1
		公衆衛生学	1後	1			1					1
		疫学	2前	2			1					1
		保健統計学	3後	2			1					1
		健康相談活動	4後	2					1			1
学校保健 II	3後	1					1			1		
国際保健	4前	1								1		
医療英語	4前	1								1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教養科目	人・思想	哲学	1前	2								1
	宗教	1前	2									1
	人・心の発達	心理学 I	1前	2								1
		心とからだの健康	1後	2								6
	言葉と文学	言葉と文学 I	1前	2								1
		言葉と文学 II	1後	2								1
		言葉と文学 III	1後	2								1
	歴史	歴史 I	1前	2								1
		歴史 II	1後	2								1
		歴史 III	1後	2								1
	現代社会	日本国憲法	1前	2								1
		現代社会 I	1後	2								1
		現代社会 II	1前	2								1
		現代社会 III	1後	2								1
		現代社会 IV	1後	2								1
		現代社会 V	1前	2								11
	数学	数学 I	1後	2								1
		数学 II	1前	2								1
	自然と環境	自然と環境 I	1後	2								1
		自然と環境 II	1前	2								1
	芸術	芸術 I	1前	2								1
		芸術 II	1前	2								1
	衣・食・住	衣・食・住 I	1前	2								1
		衣・食・住 II	1後	2								5
教養総合科目	教養総合 I	1前	2								1	
	教養総合 II	1後	2								1	
	教養総合 III	2前	2								1	
	教養総合 IV	2後	2								1	
	教養総合 V	3前	2								1	
	教養総合 VI	3後	2								1	
	教養総合 VII	4前	2								1	
	教養総合 VIII	4後	2								1	
専門科目	基礎専門科目	特別生物	1前	2								1
		特別化学	1前	2								1
		生命倫理	1後	2								1
		発達心理学	1前	2								1
		医療と法	1後	1								1
		コミュニケーション論(表現学)	1後	2								1
		食品学総論	1後	2								1
		栄養代謝学	2後	1					1			1
		フィジカルフィットネス	2後	1								1
		薬理学	2前	1								1
		社会福祉・社会保障論	2前	1								1
		社会福祉・社会活動論	3後	1								1
		公衆衛生学	1後	1					1			1
		疫学	2前	2					1			1
		保健統計学	3後	2					1			1
		健康相談活動	4後	2						1		1
学校保健 II	3後	1						1		1		
国際保健	4前	1								1		
医療英語	4前	1								1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	疾病と治療Ⅴ	2後	1									1
	疾病と治療Ⅵ	2後	1									1
	小児看護論	2後	2			1						
	小児療養看護論	3前	1					1				
	家族看護論	3前	1			3		2				
	養護概説	2前		2				1				
	母性看護論	2後	2				1					
	女性の健康増進と看護	3前	1			1						
	成育看護技術演習Ⅰ	2後	1			2	1	2				
	成育看護技術演習Ⅱ	3前	1			2	1	2				
	成育看護実習Ⅰ	1後	1			2	1	3	2	1		
	成育看護実習Ⅱ(小児)	3前・後	2			1		2	1	1		
	成育看護実習Ⅱ(母性)	3前・後	2			1	1	1	1			
	助産学概論	3前		1			1					
	助産診断技術論	3後		2				1				
	助産診断技術論演習	4前		2		1	1	1				
	助産管理	4前		1		1						
助産学実習	4前		8		1	1	1	1				
統合看護科目	学びのグループゼミⅠ	1通	1			9	2	9				
	学びのグループゼミⅡ	2通	1			9	2	9				
	学びのグループゼミⅢ	3通	1			9	2	9				
	学びのグループゼミⅣ	4通	1			9	2	9				
	課題探究	4通	4			8	2	9				
総合実習(地域・在宅)	4前	4			8	2	9	7	7			
教職に関する科目	教職論	1前			2							1
	教育基礎論Ⅱ	1前			2							1
	教育心理学Ⅱ	1前			2							1
	教育社会学	1後			2							1
	人権教育	3前			2							1
	教育行政学	1後			2							1
	教育課程総論	2前			2							1
	道德教育の理論と実践	1後			2							1
	特別活動論	1後			2							1
	教育方法の理論と実践	3前			2							1
	生徒指導論(栄教・養教)	2後			2							1
	教育相談	2前			2							1
	養護実習指導	4前			1		1					2
	養護実習A	4後			4		1					2
	養護実習B	4後			2		1					2
教職実践演習(養護教諭)	4後			2		1					2	
教職関連科目	特別支援学校体験活動	2後			1		1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	疾病と治療Ⅴ	2後	1									1
	疾病と治療Ⅵ	2後	1									1
	小児看護論	2後	2			1						
	小児療養看護論	3前	1					1				
	家族看護論	3前	1			3		2				
	養護概説	2前		2				1				
	母性看護論	2後	2				1					
	女性の健康増進と看護	3前	1			1						
	成育看護技術演習Ⅰ	2後	1			2	1	2				
	成育看護技術演習Ⅱ	3前	1			2	1	2				
	成育看護実習Ⅰ	1後	1			2	2	2	2	1		
	成育看護実習Ⅱ(小児)	3前・後	2			1		1	1	1	1	
	成育看護実習Ⅱ(母性)	3前・後	2			1	1	1	1			
	助産学概論	3前		1			1					
	助産診断技術論	3後		2				1				
	助産診断技術論演習	4前		2		1	1	1				
	助産管理	4前		1		1						
助産学実習	4前		8		1	1	1	1	1			
統合看護科目	学びのグループゼミⅠ	1通	1			10	3	8				
	学びのグループゼミⅡ	2通	1			10	3	8				
	学びのグループゼミⅢ	3通	1			10	3	8				
	学びのグループゼミⅣ	4通	1			10	3	8				
	課題探究	4通	4			8	3	8				
総合実習(地域・在宅)	4前	4			8	3	8	8	7			
教職に関する科目	教職論	1前			2							1
	教育基礎論Ⅱ	1前			2							1
	教育心理学Ⅱ	1前			2							1
	教育社会学	1後			2							1
	人権教育(未開講)	3前			2							2
	教育行政学	1後			2							1
	教育課程総論	2前			2							1
	道德教育の理論と実践	1後			2							1
	特別活動論	1後			2							1
	教育方法の理論と実践	3前			2							2
	生徒指導論(栄教・養教)	2後			2							1
	教育相談	2前			2							2
	養護実習指導	4前			1		1					2
	養護実習A	4後			4		1					2
	養護実習B	4後			2		1					2
教職実践演習(養護教諭)	4後			2		1					2	
教職関連科目	特別支援学校体験活動	2後			1		1					

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教養科目	基礎	基礎Ⅰ	1前	2		3						
		基礎Ⅱ	1後	2								1
		基礎Ⅲ	2前	2		1						
		女性Ⅰ	1前	2								1
	女性	女性Ⅱ	1後	2								1
		女性Ⅲ	1前	2								8
		女性Ⅳ	1後	2								1
		神戸学	1前	2								7
	地域	地域学習	1通	2				1				
		英語Ⅰ-1	1前	1								2
	英語	英語Ⅰ-2	1後	1								2
		英語Ⅱ-1	1前	1								2
		英語Ⅱ-2	1後	1								2
		外国語コミュニケーションⅠ	1前	1								2
		外国語コミュニケーションⅡ	1後	1								2
		教養英語Ⅰ-1	1前	1								1
教養英語Ⅰ-2		1後	1								1	
教養英語Ⅱ-1		1前	1								1	
教養英語Ⅱ-2		1後	1								1	
語学科目(世界の言語)		ドイツ語Ⅰ-1	1前	1								1
	ドイツ語Ⅰ-2	1後	1								1	
	ドイツ語会話Ⅰ	1後	1								1	
	ドイツ語講読Ⅰ	2前	1								1	
	フランス語Ⅰ-1	1前	1								1	
	フランス語Ⅰ-2	1後	1								1	
	フランス語会話Ⅰ	1後	1								1	
	フランス語講読Ⅰ	2前	1								1	
	中国語Ⅰ-1	1前	1								1	
	中国語Ⅰ-2	1後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	1後	1								1	
	中国語講読Ⅰ	2前	1								1	
	朝鮮語Ⅰ-1	1前	1								1	
	朝鮮語Ⅰ-2	1後	1								1	
	朝鮮語会話Ⅰ	1後	1								1	
	朝鮮語講読Ⅰ	2前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1								1	
	イタリア語会話Ⅰ	1後	1								1	
	イタリア語講読Ⅰ	2前	1								1	
情報科目	情報Ⅰ	1前	2								2	
	情報Ⅱ	1後	2								1	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1								1	
	スポーツと健康の科学	1前	2								1	
	スポーツ実技Ⅰ-1	1後	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-2	2前	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-3	2後	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-4	3前	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-5	3後	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-6	4前	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-7	4後	1								3	
	スポーツ実技Ⅱ-A	1後	1								1	
	スポーツ実技Ⅱ-B	2後	1								1	
	スポーツ実技Ⅱ-C	3後	1								1	
スポーツ実技Ⅱ-D	4後	1								1		

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教養科目	基礎	基礎Ⅰ	1前	2		3						
		基礎Ⅱ	1後	2								1
		基礎Ⅲ	2前	2		1						
		女性Ⅰ	1前	2								1
	女性	女性Ⅱ	1後	2								1
		女性Ⅲ	1前	2								8
		女性Ⅳ	1後	2								1
		神戸学	1前	2								6
	地域	地域学習	1通	2				1				
		英語Ⅰ-1	1前	1								2
	英語	英語Ⅰ-2	1後	1								2
		英語Ⅱ-1	1前	1								2
		英語Ⅱ-2	1後	1								2
		外国語コミュニケーションⅠ	1前	1								2
		外国語コミュニケーションⅡ	1後	1								2
		教養英語Ⅰ-1	1前	1								1
教養英語Ⅰ-2		1後	1								1	
教養英語Ⅱ-1		1前	1								1	
教養英語Ⅱ-2		1後	1								1	
語学科目(世界の言語)		ドイツ語Ⅰ-1	1前	1								1
	ドイツ語Ⅰ-2	1後	1								1	
	ドイツ語会話Ⅰ	1後	1								1	
	ドイツ語講読Ⅰ	2前	1								1	
	フランス語Ⅰ-1	1前	1								1	
	フランス語Ⅰ-2	1後	1								1	
	フランス語会話Ⅰ	1後	1								1	
	フランス語講読Ⅰ	2前	1								1	
	中国語Ⅰ-1	1前	1								1	
	中国語Ⅰ-2	1後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	1後	1								1	
	中国語講読Ⅰ	2前	1								1	
	中国語講読Ⅰ(未開講)	2前	1								1	
	朝鮮語Ⅰ-1	1前	1								1	
	朝鮮語Ⅰ-2	1後	1								1	
	朝鮮語会話Ⅰ	1後	1								1	
	朝鮮語講読Ⅰ	2前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1								1	
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1								1	
	イタリア語会話Ⅰ	1後	1								1	
イタリア語講読Ⅰ	2前	1								1		
情報科目	情報Ⅰ	1前	2								2	
	情報Ⅱ	1後	2								1	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1								1	
	スポーツと健康の科学	1前	2								1	
	スポーツ実技Ⅰ-1	1後	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-2	2前	1								4	
	スポーツ実技Ⅰ-3	2後	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-4	3前	1								4	
	スポーツ実技Ⅰ-5	3後	1								3	
	スポーツ実技Ⅰ-6	4前	1								4	
	スポーツ実技Ⅰ-7	4後	1								3	
	スポーツ実技Ⅱ-A	1後	1								2	
	スポーツ実技Ⅱ-B	2後	1								2	
	スポーツ実技Ⅱ-C	3後	1								2	
スポーツ実技Ⅱ-D	4後	1								2		

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目 全学共通教養科目	人・思想 哲学	1前		2							1
	宗教	1前		2							1
	人・人間の心理 心理学 I	1前		2							1
		心とからだの健康	1後		2						6
	言葉と文学 言葉と文学 I	1前		2							1
		言葉と文学 II	1後		2						1
		言葉と文学 III	1後		2						1
	歴史 歴史 I	1前		2							1
		歴史 II	1後		2						1
		歴史 III	1後		2						1
	現代社会 日本国憲法	1前		2							1
		現代社会 I	1後		2						1
		現代社会 II	1前		2						1
		現代社会 III	1後		2						1
		現代社会 IV	1後		2						1
		現代社会 V	1前		2						11
	数学 数学 I	1後		2							1
		数学 II	1前		2						1
	自然と環境 自然と環境 I	1後		2							1
		自然と環境 II	1前		2						1
芸術 芸術 I	1前		2							1	
	芸術 II	1前		2						1	
衣・食・住 衣・食・住 I	1前		2							2	
	衣・食・住 II	1後		2						5	
教養総合科目 教養総合 I	1前		2							1	
	教養総合 II	1後		2						1	
	教養総合 III	2前		2						1	
	教養総合 IV	2後		2						1	
	教養総合 V	3前		2						1	
	教養総合 VI	3後		2						1	
	教養総合 VII	4前		2						1	
	教養総合 VIII	4後		2						1	
専門科目 基礎専門科目	特別生物	1前		2							1
	特別化学	1前		2							1
	生命倫理	1後		2							1
	発達心理学	1前		2							1
	医療と法	1後	1								1
	コミュニケーション論(表現学)	1後		2							1
	食品学総論	1後		2							1
	栄養代謝学	2後	1								1
	フィジカルフィットネス	2後		1							1
	薬理学	2前	1								1
	社会福祉・社会保障論	2前	1								1
	社会福祉・社会活動論	3後	1								1
	公衆衛生学	1後	1			1					1
	疫学	2前	2			1					1
	保健統計学	3後	2			1					1
健康相談活動	4後		2				1			1	
学校保健 II	3後		1				1			1	
国際保健	4前		1							1	
医療英語	4前		1							1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目 全学共通教養科目	人・思想 哲学	1前		2							1
	宗教	1前		2							1
	人・人間の心理 心理学 I	1前		2							1
		心とからだの健康	1後		2						6
	言葉と文学 言葉と文学 I	1前		2							1
		言葉と文学 II	1後		2						1
		言葉と文学 III	1後		2						1
	歴史 歴史 I	1前		2							1
		歴史 II	1後		2						1
		歴史 III	1後		2						1
	現代社会 日本国憲法	1前		2							1
		現代社会 I	1後		2						1
		現代社会 II	1前		2						1
		現代社会 III	1後		2						1
		現代社会 IV	1後		2						1
		現代社会 V	1前		2						11
	数学 数学 I	1後		2							1
		数学 II	1前		2						1
	自然と環境 自然と環境 I	1後		2							1
		自然と環境 II	1前		2						1
芸術 芸術 I	1前		2							1	
	芸術 II	1前		2						1	
衣・食・住 衣・食・住 I	1前		2							2	
	衣・食・住 II	1後		2						5	
教養総合科目 教養総合 I	1前		2							1	
	教養総合 II	1後		2						1	
	教養総合 III	2前		2						1	
	教養総合 IV	2後		2						1	
	教養総合 V	3前		2						1	
	教養総合 VI	3後		2						1	
	教養総合 VII	4前		2						1	
	教養総合 VIII	4後		2						1	
専門科目 基礎専門科目	特別生物	1前		2							1
	特別化学	1前		2							1
	生命倫理	1後		2							1
	発達心理学	1前		2							1
	医療と法	1後	1								1
	コミュニケーション論(表現学)	1後		2							2
	食品学総論	1後		2							1
	栄養代謝学	2後	1								1
	フィジカルフィットネス	2後		1							1
	薬理学	2前	1								1
	社会福祉・社会保障論	2前	1								1
	社会福祉・社会活動論	3後	1								1
	公衆衛生学	1後	1			1					1
	疫学	2前	2			1					1
	保健統計学	3後	2			1					1
健康相談活動	4後		2				1			1	
学校保健 II	3後		1				1			1	
国際保健	4前		1							1	
医療英語	4前		1							1	

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護学概論	1前	2			1						
	生活概論	1前	1			2		1				
	生活援助論	1後	1					1				
	予防看護論	3後	1					1				
	看護情報学	3後	1			1						
	看護倫理	4後	1			4		1				
	実践看護論	2前	1			1						
	老年看護論	2前	1			1						
	老年看護実践方法論	3後	2				1					
	在宅看護論	3前	2			1		1				
	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ	1前	1			2	1	2				
	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ	2後	2			2	1	2				
	コミュニティ看護実習Ⅰ	1後	1			3	1	3	3	2		
	コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)	2後	2			1	1		1	1		
	公衆衛生看護学概論	3前	2			1						
	コミュニティケアシステム論	2前	1			1		4				
	地域看護活動論	3前	2					1				
	公衆衛生看護演習	4前		1				1				
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	3後		2				1				
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	3後		1		1						
公衆衛生看護管理論	4前		1		1							
災害看護	4前		1		5	1	1					
学校保健Ⅰ	3後		1				1					
公衆衛生看護活動論実習	4前		2		1		2	3	2			
公衆衛生看護管理論実習	4前		1		1		1	3	3			
医療看護分野	人体のしくみと機能Ⅰ	1前	2									1
	人体のしくみと機能Ⅱ	1後	2									1
	疾病と治療Ⅰ	2前	1									1
	疾病と治療Ⅱ	2前	2									6
	疾病と治療Ⅲ	2前	2									1
	疾病と治療Ⅳ	2前	1									1
	感染免疫学	2後	1			1						
	医療ケアシステム論	2前	1			3						1
	急性期看護論	3前	2			1						
	慢性期看護論	3前	2					1				
	治療看護論	2前	1					1				
	治療療養支援技術演習	3前	1			1		2				
	精神看護論	2前	2			1		1				
	こころの健康増進と看護	3後	1			1						
	精神看護支援技術演習	2後	1			1		1				
	医療看護実習Ⅰ	1前	1			2		5	2	4		
	医療看護実習Ⅱ(精神)	2後	2			1		1		2		
医療看護実習Ⅱ(急性期)	3前-後	3			2		1		2			
医療看護実習Ⅱ(慢性期)	3前-後	3			1		2	2				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護学概論	1前	2			1						
	生活概論	1前	1			2		1				
	生活援助論	1後	1					1				
	予防看護論	3後	1					1				
	看護情報学	3後	1			1						
	看護倫理	4後	1			4		1				
	実践看護論	2前	1			1						
	老年看護論	2前	1			1						
	老年看護実践方法論	3後	2				1					
	在宅看護論	3前	2			1		1				
	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ	1前	1			2	1	2				
	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ	2後	2			2	1	2				
	コミュニティ看護実習Ⅰ	1後	1			3	1	3	3	2		
	コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)	2後	2			1	1		1	1		
	公衆衛生看護学概論	3前	2			1						
	コミュニティケアシステム論	2前	1			1		4				
	地域看護活動論	3前	2					1				
	公衆衛生看護演習	4前		1				1				
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	3後		2				1				
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	3後		1		1						
公衆衛生看護管理論	4前		1		1							
災害看護	4前		1		5	1	1					
学校保健Ⅰ	3後		1				1					
公衆衛生看護活動論実習	4前		2		1		2	3	2			
公衆衛生看護管理論実習	4前		1		1		1	3	3			
医療看護分野	人体のしくみと機能Ⅰ	1前	2									1
	人体のしくみと機能Ⅱ	1後	2									1
	疾病と治療Ⅰ	2前	1									1
	疾病と治療Ⅱ	2前	2									6
	疾病と治療Ⅲ	2前	2									1
	疾病と治療Ⅳ	2前	1									1
	感染免疫学	2後	1			1						
	医療ケアシステム論	2前	1			3						1
	急性期看護論	3前	2			1						
	慢性期看護論	3前	2					1				
	治療看護論	2前	1					1				
	治療療養支援技術演習	3前	1			1		2				
	精神看護論	2前	2			1		1				
	こころの健康増進と看護	3後	1			1						
	精神看護支援技術演習	2後	1			1		1				
	医療看護実習Ⅰ	1前	1			2		5	2	4		
	医療看護実習Ⅱ(精神)	2後	2			1		1		2		
医療看護実習Ⅱ(急性期)	3前-後	3			2		1		2			
医療看護実習Ⅱ(慢性期)	3前-後	3			1		2	2				

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	疾病と治療V	2後	1								1
	疾病と治療VI	2後	1								1
	小児看護論	2後	2			1					
	小児療養看護論	3前	1					1			
	家族看護論	3前	1			3		2			
	養護概説	2前		2				1			
	母性看護論	2後	2				1				
	女性の健康増進と看護	3前	1			1					
	成育看護技術演習Ⅰ	2後	1			2	1	2			
	成育看護技術演習Ⅱ	3前	1			2	1	2			
	成育看護実習Ⅰ	1後	1			2	1	3	2	1	
	成育看護実習Ⅱ(小児)	3前・後	2			1		2	1	1	
	成育看護実習Ⅱ(母性)	3前・後	2			1	1	1	1		
	助産学概論	3前		1			1				
	助産診断技術論	3後		2				1			
	助産診断技術論演習	4前		2		1	1	1			
	助産管理	4前		1		1					
助産学実習	4前		8		1	1	1	1			
統合看護科目	学びのグループゼミⅠ	1通	1			9	2	9			
	学びのグループゼミⅡ	2通	1			9	2	9			
	学びのグループゼミⅢ	3通	1			9	2	9			
	学びのグループゼミⅣ	4通	1			9	2	9			
	課題探究	4通	4			8	2	9			
総合実習(地域・在宅)	4前	4			8	2	9	7	7		
教職に関する科目	教職論	1前			2						1
	教育基礎論Ⅱ	1前			2						1
	教育心理学Ⅱ	1前			2						1
	教育社会学	1後			2						1
	人権教育	3前			2						2
	教育行政学	1後			2						2
	教育課程総論	2前			2						2
	道德教育の理論と実践	1後			2						1
	特別活動論	1後			2						2
	教育方法の理論と実践	3前			2						2
	生徒指導論(栄教・養教)	2後			2						1
	教育相談	2前			2						2
	養護実習指導	4前			1		1				2
	養護実習A	4後			4		1				2
養護実習B	4後			2		1				2	
教職実践演習(養護教諭)	4後			2		1				2	
教職関連科目	特別支援学校体験活動	2後			1		1				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	疾病と治療V	2後	1								1
	疾病と治療VI	2後	1								1
	小児看護論	2後	2					1			
	小児療養看護論	3前	1						1		
	家族看護論	3前	1			3		2			
	養護概説	2前		2				1			
	母性看護論	2後	2				1				
	女性の健康増進と看護	3前	1			1					
	成育看護技術演習Ⅰ	2後	1			2	1	2			
	成育看護技術演習Ⅱ	3前	1			2	1	2			
	成育看護実習Ⅰ	1後	1			2	1	3	2	1	
	成育看護実習Ⅱ(小児)	3前・後	2			1		2	1	1	
	成育看護実習Ⅱ(母性)	3前・後	2			1	1	1	1		
	助産学概論	3前		1			1				
	助産診断技術論	3後		2					1		
	助産診断技術論演習	4前		2		1	1	1			
	助産管理	4前		1		1					
助産学実習	4前		8		1	1	1	1	1		
統合看護科目	学びのグループゼミⅠ	1通	1			9	2	9			
	学びのグループゼミⅡ	2通	1			9	2	9			
	学びのグループゼミⅢ	3通	1			9	2	9			
	学びのグループゼミⅣ	4通	1			9	2	9			
	課題探究	4通	4			8	2	9			
総合実習(地域・在宅)	4前	4			8	2	9	7	7		
教職に関する科目	教職論	1前			2						1
	教育基礎論Ⅱ	1前			2						1
	教育心理学Ⅱ	1前			2						1
	教育社会学	1後			2						1
	人権教育	3前			2						2
	教育行政学	1後			2						1
	教育課程総論	2前			2						2
	道德教育の理論と実践	1後			2						1
	特別活動論	1後			2						2
	教育方法の理論と実践	3前			2						2
	生徒指導論(栄教・養教)	2後			2						1
	教育相談	2前			2						2
	養護実習指導	4前			1		1				2
	養護実習A	4後			4		1				2
養護実習B	4後			2		1				2	
教職実践演習(養護教諭)	4後			2		1				2	
教職関連科目	特別支援学校体験活動	2後			1		1				

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基幹科目	基礎Ⅰ	1前		2		3						1	
	基礎Ⅱ	1後		2									
	基礎Ⅲ	2前		2		1							
	女性	女性Ⅰ	1前		2								1
		女性Ⅱ	1後		2								1
		女性Ⅲ	1前		2								8
		女性Ⅳ	1後		2								1
	地域	神戸学	1前		2								6
		地域学習	1通		2				1				
	英語	英語Ⅰー1	1前		1								2
		英語Ⅰー2	1後		1								2
		英語Ⅱー1	1前		1								2
英語Ⅱー2		1後		1								2	
外国語コミュニケーションⅠ		1前		1								2	
外国語コミュニケーションⅡ		1後		1								2	
教養英語Ⅰー1		1前		1								1	
教養英語Ⅰー2		1後		1								1	
教養英語Ⅱー1		1前		1								1	
教養英語Ⅱー2		1後		1								1	
語学科目（世界の言語）		ドイツ語Ⅰー1	1前		1								1
		ドイツ語Ⅰー2	1後		1								1
		ドイツ語会話Ⅰ	1後		1								1
		ドイツ語講読Ⅰ	2前		1								1
		フランス語Ⅰー1	1前		1								1
		フランス語Ⅰー2	1後		1								1
		フランス語会話Ⅰ	1後		1								1
		フランス語講読Ⅰ	2前		1								1
	初習言語	中国語Ⅰー1	1前		1								1
		中国語Ⅰー2	1後		1								1
		中国語会話Ⅰ	1後		1								1
		中国語講読Ⅰ(未開講)	2前		1								1
		朝鮮語Ⅰー1	1前		1								1
		朝鮮語Ⅰー2	1後		1								1
		朝鮮語会話Ⅰ	1後		1								1
		朝鮮語講読Ⅰ	2前		1								1
		イタリア語Ⅰー1	1前		1								1
		イタリア語Ⅰー2	1後		1								1
		イタリア語会話Ⅰ	1後		1								1
		イタリア語講読Ⅰ	2前		1								1
情報科目	情報Ⅰ	1前		2								2	
	情報Ⅱ	1後		2								1	
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1前	1									1	
	スポーツと健康の科学	1前		2								1	
	スポーツ実技Ⅰー1	1後		1								3	
	スポーツ実技Ⅰー2	2前		1								4	
	スポーツ実技Ⅰー3	2後		1								3	
	スポーツ実技Ⅰー4	3前		1								4	
	スポーツ実技Ⅰー5	3後		1								3	
	スポーツ実技Ⅰー6	4前		1								4	
	スポーツ実技Ⅰー7	4後		1								3	
	スポーツ実技ⅡーA	1後		1								3	
	スポーツ実技ⅡーB	2後		1								3	
	スポーツ実技ⅡーC	3後		1								3	
	スポーツ実技ⅡーD	4後		1								3	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通 一般科目	人・思想 哲学	1前	2								1
	宗教	1前	2								1
	人・心の心理 心理学Ⅰ	1前	2								1
	心とからだの健康	1後	2								6
	言葉と文学 言葉と文学Ⅰ	1前	2								1
	言葉と文学Ⅱ	1後	2								1
	言葉と文学Ⅲ	1後	2								1
	歴史 歴史Ⅰ	1前	2								1
	歴史Ⅱ	1後	2								1
	歴史Ⅲ	1後	2								1
	現代社会 日本国憲法	1前	2								1
	現代社会Ⅰ	1後	2								1
	現代社会Ⅱ	1前	2								1
	現代社会Ⅲ	1後	2								1
	現代社会Ⅳ	1後	2								1
	現代社会Ⅴ	1前	2								11
	数学 数学Ⅰ	1後	2								1
	数学Ⅱ	1前	2								1
	自然と環境 自然と環境Ⅰ	1後	2								1
	自然と環境Ⅱ	1前	2								1
	芸術 芸術Ⅰ	1前	2								1
	芸術Ⅱ	1前	2								1
	衣・食・住 衣・食・住Ⅰ	1前	2								2
	衣・食・住Ⅱ	1後	2								5
	教養総合科目 教養総合Ⅰ	1前	2								1
	教養総合Ⅱ	1後	2								1
教養総合Ⅲ	2前	2								1	
教養総合Ⅳ	2後	2								1	
教養総合Ⅴ	3前	2								1	
教養総合Ⅵ	3後	2								1	
教養総合Ⅶ	4前	2								1	
教養総合Ⅷ	4後	2								1	
専門科目 基礎専門科目	特別生物	1前	2								1
	特別化学	1前	2								1
	生命倫理	1後	2								1
	発達心理学	1前	2								1
	医療と法	1後	1								1
	コミュニケーション論(表現学)	1後	2								1
	食品学総論	1後	2								1
	栄養代謝学	2後	1								1
	フィジカルフィットネス	2後	1								1
	薬理学	2前	1								1
	社会福祉・社会保障論	2前	1								1
	社会福祉・社会活動論	3後	1								1
	公衆衛生学	1後	1			1					
	疫学	2前	2			1					
	保健統計学	3後	2			1					
健康相談活動	4後	2					1				
学校保健Ⅱ	3後	1					1				
国際保健	4前	1								1	
医療英語	4前	1								1	

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	看護学概論	1前	2			1							
	生活概論	1前	1			2		1					
	生活援助論	1後	1					1					
	予防看護論	3後	1					1					
	看護情報学	3後	1			1							
	看護倫理	4後	1			4		1					
	実践看護論	2前	1			1							
	老年看護論	2前	1			1							
	老年看護実践方法論	3後	2				1						
	在宅看護論	3前	2			1		1					
	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ	1前	1			2	1	2					
	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ	2後	2			2	1	2					
	コミュニティ看護実習Ⅰ	1後	1			3	1	3	3	2			
	コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)	2後	2			1	1		1	1			
	公衆衛生看護学概論	3前	2			1							
	コミュニティケアシステム論	2前	1			1		4					
	地域看護活動論	3前	2					1					
	公衆衛生看護演習	4前		1				1					
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	3後		2				1					
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	3後		1		1							
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1							
	災害看護	4前		1		5	1	1					
	学校保健Ⅰ	3後		1				1					
	公衆衛生看護活動論実習	4前		2		1		2	3	2			
	公衆衛生看護管理論実習	4前		1		1		1	3	3			
	医 療 看 護 分 野	人体のしくみと機能Ⅰ	1前	2									1
		人体のしくみと機能Ⅱ	1後	2									1
		疾病と治療Ⅰ	2前	1									1
疾病と治療Ⅱ		2前	2									6	
疾病と治療Ⅲ		2前	2									1	
疾病と治療Ⅳ		2前	1									1	
感染免疫学		2後	1			1							
医療ケアシステム論		2前	1			3						1	
急性期看護論		3前	2			1							
慢性期看護論		3前	2					1					
治療看護論		2前	1					1					
治療療養支援技術演習		3前	1			1		2					
精神看護論		2前	2			1		1					
こころの健康増進と看護		3後	1			1							
精神看護支援技術演習		2後	1			1		1					
医療看護実習Ⅰ		1前	1			2		5	2	4			
医療看護実習Ⅱ(精神)		2後	2			1		1			2		
医療看護実習Ⅱ(急性期)		3前・後	3			2		1			2		
医療看護実習Ⅱ(慢性期)	3前・後	3			1		2	2					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	疾病と治療Ⅴ	2後	1									1	
	疾病と治療Ⅵ	2後	1									1	
	小児看護論	2後	2			1							
	小児療養看護論	3前	1					1					
	家族看護論	3前	1			3		2					
	養護概説	2前		2				1					
	母性看護論	2後	2				1						
	女性の健康増進と看護	3前	1			1							
	成育看護技術演習Ⅰ	2後	1			2	1	2					
	成育看護技術演習Ⅱ	3前	1			2	1	2					
	成育看護実習Ⅰ	1後	1			2	1	3	2	1			
	成育看護実習Ⅱ(小児)	3前・後	2			1		2	1	1			
	成育看護実習Ⅱ(母性)	3前・後	2			1	1	1	1				
	助産学概論	3前		1			1						
	助産診断技術論	3後		2				1					
	助産診断技術論演習	4前		2		1	1	1					
	助産管理	4前		1		1							
	助産学実習	4前		8		1	1	1	1				
	統合看護科目	学びのグループゼミⅠ	1通	1			9	2	9				
		学びのグループゼミⅡ	2通	1			9	2	9				
学びのグループゼミⅢ		3通	1			9	2	9					
学びのグループゼミⅣ		4通	1			9	2	9					
課題探究		4通	4			8	2	9					
総合実習(地域・在宅)	4前	4			8	2	9	8	7				
教職に関する科目	教職論	1前			2							1	
	教育基礎論Ⅱ	1前			2							1	
	教育心理学Ⅱ	1前			2							1	
	教育社会学	1後			2							1	
	人権教育(未開講)	3前			2							2	
	教育行政学	1後			2							1	
	教育課程総論	2前			2							1	
	道德教育の理論と実践	1後			2							1	
	特別活動論	1後			2							2	
	教育方法の理論と実践	3前			2							2	
	生徒指導論(栄教・養教)	2後			2							1	
	教育相談	2前			2							2	
	養護実習指導	4前			1		1					2	
	養護実習A	4後			4		1					2	
養護実習B	4後			2		1					2		
教職実践演習(養護教諭)	4後			2		1					2		
教職関連科目	特別支援学校体験活動	2後			1		1						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・より充実した教育内容とするため、「女性Ⅲ」のオムニバス形式の兼任・兼任を「6」から「8」に変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「外国語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「外国語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「衣・食・住Ⅱ」をオムニバス形式の授業とし、兼任・兼任を「1」から「5」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「人権教育」をオムニバス形式とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・教育効果を高めるため該当科目の教育実績のある教員を担当者として教職課程認定申請を行ったことに伴い、「教育行政学」をオムニバス形式とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「教育課程総論」をオムニバス形式とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「特別活動論」をオムニバス形式とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「教育方法の理論と実践」をオムニバス形式とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「教育相談」をオムニバス形式とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。

【平成28年度】

- ・「神戸学」の担当者のうち1名について所属大学が定年退職のため、兼任から学外特別講師へ変更して招聘する。
これに伴い兼任・兼任を「7」から「6」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅰ-2」の兼任・兼任を「3」から「4」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅰ-4」の兼任・兼任を「3」から「4」へ変更。
- ・履修者数に応じ、教育効果に配慮して「スポーツ実技Ⅰ-6」の兼任・兼任を「3」から「4」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「スポーツ実技Ⅱ-A」の担当者を隔年で変更することに伴い、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「スポーツ実技Ⅱ-B」の担当者を隔年で変更することに伴い、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「スポーツ実技Ⅱ-C」の担当者を隔年で変更することに伴い、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「スポーツ実技Ⅱ-D」の担当者を隔年で変更することに伴い、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「コミュニケーション論(表現学)」をオムニバス形式の授業とし、兼任・兼任を「1」から「2」へ変更。
- ・担当者辞退により、「教育行政学」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更。

【平成29年度】

- ・授業内容の充実を図り、「スポーツ実技Ⅱ-A」の兼任・兼任を「2」から「3」へ変更(29)
- ・授業内容の充実を図り、「スポーツ実技Ⅱ-B」の兼任・兼任を「2」から「3」へ変更(29)
- ・授業内容の充実を図り、「スポーツ実技Ⅱ-C」の兼任・兼任を「2」から「3」へ変更(29)
- ・授業内容の充実を図り、「スポーツ実技Ⅱ-D」の兼任・兼任を「2」から「3」へ変更(29)
- ・授業運営上の都合により、「コミュニケーション論(表現学)」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更(29)
- ・授業内容の充実を図り、「総合実習(地域・在宅)」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教8」へ変更
- ・授業運営上の都合により、「教育課程総論」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更

【平成30年度】

- ・授業内容の充実を図り、「女性Ⅲ」のオムニバス形式の兼任・兼任を「8」から「7」に変更。
- ・授業内容の充実を図り、「衣・食・住Ⅰ」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・担当者変更により、「栄養学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者の職位変更により、「健康相談活動」の「講師1」を削除、「准教授1」に変更。
- ・担当者の職位変更により、「学校保健Ⅱ」の「講師1」を削除、「准教授1」に変更。
- ・授業内容の充実を図るため、「看護学概論」をオムニバス形式の授業とし、専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「コミュニティ看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」へ、「助手2」から「助手1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「コミュニティケアシステム論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ、「講師4」から「講師3」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「学校保健Ⅰ」の「講師1」を削除、「准教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「人体のしくみと機能Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「人体のしくみと機能Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「疾病と治療Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更により、「医療ケアシステム論」の「兼任・兼任1」を削除。
- ・担当者の職位変更により、「医療看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」へ、「助手4」から「助手3」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「看護概説」の専任教員等の配置を「講師1」を削除、「准教授1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「保育看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」へ、「講師3」から「講師2」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「保育看護実習Ⅱ(小児)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ、「講師2」から「講師1」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「学びのグループゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」へ変更。
また、担当者の職位変更により、「准教授2」を「准教授3」へ、「講師9」を「講師8」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「学びのグループゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」へ変更。
また、担当者の職位変更により、「准教授2」を「准教授3」へ、「講師9」を「講師8」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「学びのグループゼミⅢ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」へ変更。
また、担当者の職位変更により、「准教授2」を「准教授3」へ、「講師9」を「講師8」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「学びのグループゼミⅣ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」へ変更。
また、担当者の職位変更により、「准教授2」を「准教授3」へ、「講師9」を「講師8」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「課題探究」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」へ、「講師9」から「講師8」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「総合実習(地域・在宅)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」へ、「講師9」から「講師8」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「特別活動論」の兼任・兼任を「2」から「1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「看護実習指導」の専任教員等の配置について、「講師1」を削除、「准教授1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「看護実習A」の専任教員等の配置について、「講師1」を削除、「准教授1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「看護実習B」の専任教員等の配置について、「講師1」を削除、「准教授1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「教職実践演習(看護教諭)」の専任教員等の配置について、「講師1」を削除、「准教授1」へ変更。
- ・担当者の職位変更により、「特別支援学校体験活動」の専任教員等の配置について、「講師1」を削除、「准教授1」へ変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
63 科目	110 科目	17 科目	190 科目	63 科目 [0]	110 科目 [0]	17 科目 [0]	190 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	神戸学	2	1前	一般	選択	オムニバスの担当教員のうち、時間割の関係で担当できない教員が出たため、平成30年度は未開講であるが、平成31年度以降は時間割を変更するか、代替教員により対応を図る。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教養科目の「神戸学」は6人の教員によるオムニバス授業として開講していたが、平成30年度に限り、時間割の関係で担当できなくなった教員が出たため、当該年度のみ未開講とした。平成31年度からは、時間割を変更するか、一部担当者を変更するかたちで開講する予定である。学生には『履修の手引き』にその旨を記載するとともに、履修説明・履修指導の際に説明し、周知を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{190} = \boxed{0.52} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸女子短期大学（収容定員680人の必要面積6,800㎡）と共用		
	校舎敷地	60,601.00㎡	4,174.00㎡	17,849.56㎡	82,624.56㎡			
	運動場用地	9,999.00㎡	0.00㎡	6,675.28㎡	16,674.28㎡			
	小 計	70,600.00㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	99,298.84㎡			
	そ の 他	75,023.61㎡	0.00㎡	0.00㎡	75,023.61㎡			
	合 計	145,623.61㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	174,322.45㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸女子短期大学（収容定員680人の必要面積5,400㎡）と共用			
	45,933.72㎡ (45,933.72㎡)	7,085.46㎡ (7,085.46㎡)	24,002.42㎡ (24,002.42㎡)	77,021.60㎡ (77,021.60㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	43室	21室	39室	6室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	看護学部看護学科		33 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学生の修学環境の充実を図る (28) 学生の修学環境の充実を図る (29) 学生の修学環境の充実を図るため、図書冊数を増加している。学術雑誌については、販売終了、公開情報等に移行したため減少したが、学生が利用できる学術雑誌数は減少していない。(30)
	看護学部看護学科	5,200 [580] 4,800 [580] 4,300 [520] 3,200 [500] (5,124 [557]) (4,564 [554]) (3,641 [507]) (3,200 [500])	62 [13] 66 [13] (62 [13]) (66 [13])	10 [10] 6 [5] 10 [10] (6 [5])	320 300 250 83 (310) (293) (194) (83)	3,013 (3013)	19 (19)	
	計	5,200 [580] 4,800 [580] 4,300 [520] 3,200 [500] (5,124 [557]) (4,564 [554]) (3,641 [507]) (3,200 [500])	62 [13] 66 [13] (62 [13]) (66 [13])	10 [10] 6 [5] 10 [10] (6 [5])	320 300 250 83 (310) (293) (194) (83)	3,013 (3013)	19 (19)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		学生の修学環境を改善するため (28) 学生の修学環境を改善するため (30)		
	1,967.78㎡	324 318 313席		110,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	2,334.04㎡	テニスコート 3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	15,437千円	4,864千円	4,864千円
	共同研究費等	7,332千円	7,332千円	設備購入費	122,912千円	90,246千円	4,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	神戸女子大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
家政学研究科 (博士前期課程)									
食物栄養学専攻	2	8	-	16	修士 (食物栄養学)	0.37	昭和59年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	
生活造形学専攻 (博士後期課程)	2	6	-	12	修士 (生活造形学)	0.33	平成7年度	同上	
食物栄養学専攻	3	2	-	6	博士 (食物栄養学)	0.33	平成元年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	
生活造形学専攻	3	2	-	6	博士 (生活造形学)	0.16	平成9年度	同上	
文学研究科 (博士前期課程)									
日本文学専攻	2	4	-	8	修士 (日本文学)	0.00	昭和61年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	
英文学専攻	2	4	-	8	修士 (英文学)	0.12	昭和61年度	同上	
日本史学専攻	2	4	-	8	修士 (日本史学)	0.75	昭和61年度	同上	
教育学専攻 (博士後期課程)	2	4	-	8	修士 (教育学)	0.00	昭和62年度	同上	
日本文学専攻	3	2	-	6	博士 (日本文学)	0.00	平成5年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	
英文学専攻	3	2	-	6	博士 (英文学)	0.00	平成4年度	同上	
日本史学専攻	3	2	-	6	博士 (日本史学)	0.16	平成3年度	同上	
教育学専攻	3	2	-	6	博士 (教育学)	0.50	平成元年度	同上	
健康栄養学研究科 (修士課程)									
健康栄養学専攻	2	4	-	8	修士 (健康栄養学)	0.87	平成28年度	兵庫県神戸市中央区 港島中町4-7-2	
大学 の 名 称	神戸女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
日本語日本文学科	4	60	-	240	学士 (日本語日本文学)	1.12	平成18年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	
英語英米文学科	4	60	-	240	学士 (英語英米文学)	1.07	平成18年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
国際教養学科	4	40	-	160	学士 (国際教養学)	1.30	平成18年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	平成30年度より名称(神戸国際教養学科→国際教養学科)変更
史学科	4	60	-	240	学士 (歴史学)	1.01	昭和44年度	同上	
教育学科	4	165	-	660	学士 (教育学)	1.05	昭和44年度	同上	
健康福祉学部									
社会福祉学科	4	80	-	320	学士 (社会福祉学)	0.88	平成18年度	兵庫県神戸市中央区 港島中町4-7-2	平成29年度より入学定員(60→80)変更
健康スポーツ栄養学科	4	80	-	280	学士 (栄養学)	1.02	平成21年度	同上	
家政学部									
家政学科	4	80	-	320	学士 (家政学)	1.07	昭和41年度	兵庫県神戸市須磨区 東須磨青山2-1	平成29年度より入学定員(140→150)及び編入学定員(20→10)変更
管理栄養士養成課程	4	150	3年次 10	600	学士 (栄養学)	1.08	昭和43年度	同上	
看護学部									
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.11	平成27年度	兵庫県神戸市中央区 港島中町4-7-2	
大学の名称	神戸女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
総合生活学科	2	120	-	240	短期大学士 (総合生活学)	0.76	平成8年度	兵庫県神戸市中央区 港島中町4-7-2	
食物栄養学科	2	120	-	240	短期大学士 (食物栄養学)	0.68	平成8年度	同上	
幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育学)	0.88	昭和30年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西方 弥生 (36) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児)
		総合実習(地域・在宅)
専	助教	岡本 恵 (35) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性)
		助産学実習 総合実習(地域・在宅)
兼任	教授	狩野 恭 (62) <平成27年4月>
		心とからだの健康※ 生命倫理
兼任	教授	吉川 豊 (40) <平成27年4月>
		食品学総論
兼任	教授	松崎 喜良 (65) <平成27年4月>
		現代社会Ⅴ※
		社会福祉・社会保障論 社会福祉・社会活動論
兼任	教授	加堂 哲治 (65) <平成27年4月>
		人体のしくみと機能Ⅰ
		人体のしくみと機能Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 栄養代謝学 医療ケアシステム論※
兼任	教授	岸本 芳信 (67) <平成27年4月>
		教職論 教育課程総論 養護実習指導※
		養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	田中 美紀子 (54) <平成27年4月>
		人権教育 道徳教育の理論と実践

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西方 弥生 (37) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児)
		総合実習(地域・在宅)
専	助教	岡本 恵 (36) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性)
		助産学実習 総合実習(地域・在宅)
兼任	教授	狩野 恭 (63) <平成27年4月>
		心とからだの健康※ 生命倫理
兼任	教授	吉川 豊 (41) <平成27年4月>
		食品学総論 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	松崎 喜良 (66) <平成27年4月>
		現代社会Ⅴ※
		社会福祉・社会保障論 社会福祉・社会活動論
兼任	教授	加堂 哲治 (66) <平成27年4月>
		人体のしくみと機能Ⅰ
		人体のしくみと機能Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 栄養代謝学 医療ケアシステム論※
兼任	教授	岸本 芳信 (68) <平成27年4月>
		教職論 教育課程総論※ 養護実習指導※
		養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	講師	長瀬 荘一 (64) <平成28年4月>
		教育課程総論※
兼任	教授	田中 美紀子 (55) <平成27年4月>
		人権教育※ 道徳教育の理論と実践

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西方 弥生 (38) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児)
		総合実習(地域・在宅)
専	助教	岡本 恵 (37) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性)
		助産学実習 総合実習(地域・在宅)
兼任	教授	狩野 恭 (64) <平成27年4月>
		心とからだの健康※ 生命倫理
兼任	教授	吉川 豊 (42) <平成27年4月>
		食品学総論 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	松崎 喜良 (67) <平成27年4月>
		現代社会Ⅴ※
		社会福祉・社会保障論 社会福祉・社会活動論
兼任	教授	加堂 哲治 (67) <平成27年4月>
		人体のしくみと機能Ⅰ
		人体のしくみと機能Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 栄養代謝学 医療ケアシステム論※
兼任	教授	岸本 芳信 (69) <平成27年4月>
		教職論 教育課程総論※ 養護実習指導※
		養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	田中 美紀子 (56) <平成27年4月>
		人権教育※ 道徳教育の理論と実践

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西方 弥生 (39) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児)
		総合実習(地域・在宅)
専	助教	岡本 恵 (38) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性)
		助産学実習 総合実習(地域・在宅)
兼任	教授	狩野 恭 (65) <平成27年4月>
		心とからだの健康※ 生命倫理
兼任	教授	吉川 豊 (43) <平成27年4月>
		食品学総論 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	松崎 喜良 (68) <平成27年4月>
		現代社会Ⅴ※
		社会福祉・社会保障論 社会福祉・社会活動論
兼任	教授	加堂 哲治 (68) <平成27年4月>
		人体のしくみと機能Ⅰ
		人体のしくみと機能Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 栄養代謝学 医療ケアシステム論※
兼任	教授	岸本 芳信 (69) <平成27年4月>
		教職論 教育課程総論※ 養護実習指導※
		養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	松崎 隆幸 (60) <平成29年4月>
		教職論 教育課程総論 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	田中 美紀子 (57) <平成27年4月>
		人権教育※ 道徳教育の理論と実践

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	西方 弥生 (40) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(小児)
		総合実習(地域・在宅)
専	助教	岡本 恵 (39) <平成27年4月>
		成育看護実習Ⅰ 成育看護実習Ⅱ(母性)
		助産学実習 総合実習(地域・在宅)
専	助教	三吉 美和 (44) <平成30年4月>
		コミュニティ看護実習Ⅰ 医療看護実習Ⅰ
兼任	教授	狩野 恭 (66) <平成27年4月>
		心とからだの健康※ 生命倫理
兼任	教授	吉川 豊 (44) <平成27年4月>
		食品学総論 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅱ※
兼任	教授	松崎 喜良 (69) <平成27年4月>
		現代社会Ⅴ※
		社会福祉・社会保障論 社会福祉・社会活動論
兼任	教授	加堂 哲治 (69) <平成27年4月>
		人体のしくみと機能Ⅰ
		人体のしくみと機能Ⅱ 疾病と治療Ⅲ 栄養代謝学 医療ケアシステム論※
兼任	教授	岸本 芳信 (70) <平成27年4月>
		教職論 教育課程総論※ 養護実習指導※
		養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	松崎 隆幸 (61) <平成29年4月>
		教職論 教育課程総論 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	田中 美紀子 (58) <平成27年4月>
		人権教育※ 道徳教育の理論と実践

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	教授	榎元 十三男 (59) <平成28年4月> 生徒指導論(宗教・養教) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※	
兼任	教授	山下 俊介 (64) <平成27年4月> 基礎Ⅱ 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2	
兼任	教授	泉 妙子 (59) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※	
兼任	教授	鈴木 一永 (49) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	梶原 苗美 (68) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ※	
兼任	教授	平田 耕造 (62) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	栗原 伸公 (49) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	今井 修平 (64) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	梶木 典子 (49) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	中山 ふみ江 (63) <平成27年4月> スポーツ実技Ⅱ-A スポーツ実技Ⅱ-B スポーツ実技Ⅱ-C スポーツ実技Ⅱ-D	
兼任	教授	前田 研史 (59) <平成27年4月> 心とからだの健康※	

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	講師	伊藤 昇 (66) <平成29年4月> 人権教育※	
兼任	教授	榎元 十三男 (60) <平成28年4月> 生徒指導論(宗教・養教) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※	
兼任	教授	山下 俊介 (65) <平成27年4月> 基礎Ⅱ 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ	
兼任	教授	泉 妙子 (60) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※	
兼任	教授	鈴木 一永 (50) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	梶原 苗美 (69) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ※ 衣・食・住Ⅱ※	
兼任	教授	平田 耕造 (63) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	栗原 伸公 (50) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	奥野 直 (56) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	今井 修平 (65) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	梶木 典子 (51) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	中山 ふみ江 (64) <平成27年4月> スポーツ実技Ⅱ-A スポーツ実技Ⅱ-B スポーツ実技Ⅱ-C スポーツ実技Ⅱ-D	
兼任	教授	前田 研史 (60) <平成27年4月> 心とからだの健康※ 教育相談※	

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	講師	伊藤 昇 (67) <平成29年4月> 人権教育※	
兼任	教授	榎元 十三男 (61) <平成28年4月> 生徒指導論(宗教・養教) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※	
兼任	教授	山下 俊介 (66) <平成27年4月> 基礎Ⅱ 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ	
兼任	教授	泉 妙子 (61) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※	
兼任	教授	鈴木 一永 (51) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	梶原 苗美 (70) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ※ 衣・食・住Ⅱ※	
兼任	教授	平田 耕造 (64) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	栗原 伸公 (51) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	奥野 直 (57) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	今井 修平 (66) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	梶木 典子 (52) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	中山 ふみ江 (65) <平成27年4月> スポーツ実技Ⅱ-A【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-B【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-C【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-D【隔年】	
兼任	教授	前田 研史 (61) <平成27年4月> 心とからだの健康※ 教育相談※	

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	講師	伊藤 昇 (68) <平成29年4月> 人権教育※	
兼任	教授	榎元 十三男 (62) <平成28年4月> 生徒指導論(宗教・養教) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※	
兼任	教授	山下 俊介 (67) <平成27年4月> 基礎Ⅱ 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ	
兼任	教授	泉 妙子 (62) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※	
兼任	教授	鈴木 一永 (52) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	梶原 苗美 (71) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ※ 衣・食・住Ⅱ※	
兼任	教授	平田 耕造 (65) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	栗原 伸公 (52) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	奥野 直 (58) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	今井 修平 (67) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	梶木 典子 (53) <平成27年4月> 神戸学※	
兼任	教授	中山 ふみ江 (66) <平成27年4月> スポーツ実技Ⅱ-A【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-B【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-C【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-D【隔年】	
兼任	教授	前田 研史 (62) <平成27年4月> 心とからだの健康※ 教育相談※	

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	講師	濱口 常雄 (62) <平成30年4月> 人権教育※	
兼任	教授	榎元 十三男 (63) <平成28年4月> 生徒指導論(宗教・養教) 養護実習指導※ 養護実習A 養護実習B 教職実践演習(養護教諭)※	
兼任	教授	山下 俊介 (68) <平成27年4月> 基礎Ⅱ 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ	
兼任	教授	泉 妙子 (63) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※	
兼任	教授	鈴木 一永 (53) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	西村 恭子 (44) <平成30年4月> 基礎Ⅱ	
兼任	教授	泉 妙子 (63) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 心とからだの健康※ 現代社会Ⅴ※	
兼任	教授	鈴木 一永 (53) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	本田 まり (43) <平成30年4月> 衣・食・住Ⅱ※	
兼任	教授	平田 耕造 (66) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	栗原 伸公 (53) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	奥野 直 (59) <平成27年4月> 女性Ⅲ※	
兼任	教授	中山 ふみ江 (67) <平成27年4月> スポーツ実技Ⅱ-A【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-B【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-C【隔年】 スポーツ実技Ⅱ-D【隔年】	
兼任	教授	前田 研史 (63) <平成27年4月> 心とからだの健康※ 教育相談※	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	助教	下司 実奈 (56) <平成27年4月> 心理学 I 心とからだの健康※ 現代社会 V ※ 教育心理学 II	
兼任	助教	竹田 和恵 (41) <平成27年4月> 情報 I 教育方法の理論と実践	
兼任	助教	谷山 優子 (51) <平成28年4月> 教育相談	
兼任	助教	松本 衣代 (36) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住 I ※ 衣・食・住 II	
兼任	助教	村田 恵子 (44) <平成27年4月> 自然と環境 II	
兼任	講師	上曾山 博 (57) <平成27年4月> 特別生物 特別化学	
兼任	講師	伊藤 篤 (56) <平成27年4月> 発達心理学	
兼任	講師	七野 敏光 (59) <平成27年4月> 現代社会 I 医療と法	
兼任	講師	笹原 秀夫 (57) <平成27年4月> コミュニケーション論(表現学)	
兼任	講師	野之上 操 (58) <平成27年4月> スポーツ実技 I-1 スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-3 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-5 スポーツ実技 I-6 スポーツ実技 I-7 ファンカルフィットネス	
兼任	講師	倉田 誠 (37) <平成30年4月> 国際保健	

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	准教授	下司 実奈 (57) <平成27年4月> 心理学 I 心とからだの健康※ 現代社会 V ※	
兼任	教授	中島 實 (63) <平成27年4月> 教育心理学 II	
兼任	助教	竹田 和恵 (42) <平成27年4月> 情報 I 教育方法の理論と実践※	
兼任	助教	谷山 優子 (52) <平成28年4月> 教育相談※	
兼任	准教授	松本 衣代 (37) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住 I ※ 衣・食・住 II ※	
兼任	准教授	佐藤 響子 (49) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	准教授	小原 依子 (44) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	助教	村田 恵子 (45) <平成27年4月> 自然と環境 II	
兼任	講師	上曾山 博 (58) <平成27年4月> 特別生物 特別化学	
兼任	講師	伊藤 篤 (58) <平成27年4月> 発達心理学	
兼任	講師	七野 敏光 (60) <平成27年4月> 現代社会 I 医療と法	
兼任	講師	笹原 秀夫 (58) <平成27年4月> コミュニケーション論(表現学)	
兼任	講師	野之上 操 (59) <平成27年4月> スポーツ実技 I-1 スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-3 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-5 スポーツ実技 I-6 スポーツ実技 I-7 ファンカルフィットネス	
兼任	講師	倉田 誠 (38) <平成30年4月> 国際保健	

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	准教授	下司 実奈 (58) <平成27年4月> 心理学 I 心とからだの健康※ 現代社会 V ※	
兼任	教授	中島 實 (64) <平成27年4月> 教育心理学 II	
兼任	助教	竹田 和恵 (43) <平成27年4月> 情報 I 教育方法の理論と実践※	
兼任	准教授	谷山 優子 (53) <平成28年4月> 教育相談※	
兼任	准教授	松本 衣代 (38) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住 I ※ 衣・食・住 II ※	
兼任	准教授	佐藤 響子 (50) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	准教授	小原 依子 (45) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	助教	村田 恵子 (46) <平成27年4月> 自然と環境 II	
兼任	講師	上曾山 博 (59) <平成27年4月> 特別生物 特別化学	
兼任	講師	伊藤 篤 (59) <平成27年4月> 発達心理学	
兼任	講師	七野 敏光 (61) <平成27年4月> 現代社会 I 医療と法	
兼任	講師	笹原 秀夫 (59) <平成27年4月> コミュニケーション論(表現学)※	
兼任	講師	北川 勝利 (57) <平成27年10月> コミュニケーション論(表現学)※	
兼任	講師	野之上 操 (60) <平成27年4月> スポーツ実技 I-1 スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-3 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-5 スポーツ実技 I-6 スポーツ実技 I-7 ファンカルフィットネス	
兼任	講師	倉田 誠 (39) <平成30年4月> 国際保健	

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	准教授	下司 実奈 (59) <平成27年4月> 心理学 I 心とからだの健康※ 現代社会 V ※	
兼任	教授	中島 實 (65) <平成27年4月> 教育心理学 II	
兼任	助教	竹田 和恵 (44) <平成27年4月> 情報 I 教育方法の理論と実践※	
兼任	准教授	谷山 優子 (54) <平成28年4月> 教育相談※	
兼任	准教授	松本 衣代 (39) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住 I ※ 衣・食・住 II ※	
兼任	准教授	佐藤 響子 (51) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	教授	小原 依子 (46) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	助教	村田 恵子 (47) <平成27年4月> 自然と環境 II	
兼任	講師	上曾山 博 (60) <平成27年4月> 特別生物 特別化学	
兼任	講師	伊藤 篤 (60) <平成27年4月> 発達心理学	
兼任	講師	七野 敏光 (62) <平成27年4月> 現代社会 I 医療と法	
兼任	講師	笹原 秀夫 (60) <平成27年4月> コミュニケーション論(表現学)	
兼任	講師	北川 勝利 (58) <平成27年10月> コミュニケーション論(表現学)	
兼任	講師	野之上 操 (61) <平成27年4月> スポーツ実技 I-1 スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-3 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-5 スポーツ実技 I-6 スポーツ実技 I-7 ファンカルフィットネス	
兼任	講師	倉田 誠 (40) <平成30年4月> 国際保健	

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	
兼任	准教授	下司 実奈 (60) <平成27年4月> 心理学 I 心とからだの健康※ 現代社会 V ※	
兼任	教授	中島 實 (66) <平成27年4月> 教育心理学 II	
兼任	助教	竹田 和恵 (45) <平成27年4月> 情報 I 教育方法の理論と実践※	
兼任	准教授	谷山 優子 (55) <平成28年4月> 教育相談※	
兼任	准教授	松本 衣代 (40) <平成27年4月> 女性Ⅲ※ 衣・食・住 I ※ 衣・食・住 II ※	
兼任	准教授	佐藤 響子 (52) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	教授	小原 依子 (47) <平成27年4月> 衣・食・住 II ※	
兼任	助教	村田 恵子 (48) <平成27年4月> 自然と環境 II	
兼任	講師	上曾山 博 (61) <平成27年4月> 特別生物 特別化学	
兼任	講師	伊藤 篤 (61) <平成27年4月> 発達心理学	
兼任	講師	七野 敏光 (63) <平成27年4月> 現代社会 I 医療と法	
兼任	講師	笹原 秀夫 (61) <平成27年4月> コミュニケーション論(表現学)	
兼任	講師	北川 勝利 (59) <平成27年10月> コミュニケーション論(表現学)	
兼任	講師	野之上 操 (62) <平成27年4月> スポーツ実技 I-1 スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-3 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-5 スポーツ実技 I-6 スポーツ実技 I-7 ファンカルフィットネス	
兼任	講師	倉田 誠 (41) <平成30年4月> 国際保健	

【認可時又は届出時】		【平成27年度】		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 職名 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 職名 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 職名 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 職名 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 職名 担当授業科目名
兼任	黒瀬 勉 (63) <平成27年4月> 哲学 宗教	兼任	黒瀬 勉 (64) <平成27年4月> 哲学 宗教	兼任	黒瀬 勉 (65) <平成27年4月> 哲学 宗教	兼任	黒瀬 勉 (66) <平成27年4月> 哲学 宗教	兼任	黒瀬 勉 (67) <平成27年4月> 哲学 宗教
兼任	大山 範子 (50) <平成27年4月> 言葉と文学 I 教養総合 II 教養総合 IV 教養総合 VI 教養総合 VII	兼任	大山 範子 (51) <平成27年4月> 言葉と文学 I 教養総合 II 教養総合 IV 教養総合 VI 教養総合 VII	兼任	大山 範子 (52) <平成27年4月> 言葉と文学 I 教養総合 II 教養総合 IV 教養総合 VI 教養総合 VII	兼任	大山 範子 (53) <平成27年4月> 言葉と文学 I 教養総合 II 教養総合 IV 教養総合 VI 教養総合 VII	兼任	大山 範子 (54) <平成27年4月> 言葉と文学 I 教養総合 II 教養総合 IV 教養総合 VI 教養総合 VII
兼任	山口 知子 (54) <平成27年4月> 言葉と文学 II【隔年】	兼任	山口 知子 (55) <平成27年4月> 言葉と文学 II【隔年】	兼任	山口 知子 (56) <平成27年4月> 言葉と文学 II【隔年】	兼任	山口 知子 (57) <平成27年4月> 言葉と文学 II【隔年】	兼任	山口 知子 (58) <平成27年4月> 言葉と文学 II【隔年】
兼任	志賀(藤原)節子 (64) <平成27年4月> 歴史 I	兼任	志賀(藤原)節子 (65) <平成27年4月> 歴史 I	兼任	志賀(藤原)節子 (66) <平成27年4月> 歴史 I	兼任	志賀(藤原)節子 (67) <平成27年4月> 歴史 I	兼任	志賀(藤原)節子 (68) <平成27年4月> 歴史 I
兼任	毛利 英介 (36) <平成27年4月> 歴史 II【隔年】	兼任	毛利 英介 (37) <平成27年4月> 歴史 II【隔年】	兼任	毛利 英介 (38) <平成27年4月> 歴史 II【隔年】	兼任	毛利 英介 (39) <平成27年4月> 歴史 II【隔年】	兼任	毛利 英介 (40) <平成27年4月> 歴史 II【隔年】
兼任	笹田 哲男 (62) <平成27年4月> 日本国憲法	兼任	笹田 哲男 (63) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会 IV	兼任	笹田 哲男 (64) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会 IV	兼任	笹田 哲男 (65) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会 IV	兼任	笹田 哲男 (66) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会 IV
兼任	和田 賢治 (41) <平成27年4月> 現代社会 IV								
兼任	澤田 麻衣子 (38) <平成27年4月> 数学 I	兼任	澤田 麻衣子 (39) <平成27年4月> 数学 I	兼任	澤田 麻衣子 (40) <平成27年4月> 数学 I 数学 II				
兼任	浅木森 和夫 (62) <平成27年4月> 数学 II	兼任	浅木森 和夫 (63) <平成27年4月> 数学 II						
						兼任	岡田 真和 (62) <平成28年4月> 数学 II 数学 I	兼任	岡田 真和 (63) <平成28年4月> 数学 II 数学 I
兼任	本間 康浩 (67) <平成27年4月> 自然と環境 I	兼任	本間 康浩 (68) <平成27年4月> 自然と環境 I	兼任	本間 康浩 (69) <平成27年4月> 自然と環境 I				
兼任	森下 淳也 (58) <平成29年4月> 自然と環境 I	兼任	森下 淳也 (59) <平成29年4月> 自然と環境 I	兼任	森下 淳也 (60) <平成29年4月> 自然と環境 I	兼任	森下 淳也 (61) <平成29年4月> 自然と環境 I	兼任	森下 淳也 (62) <平成29年4月> 自然と環境 I
兼任	林 孝三 (62) <平成27年4月> 芸術 I	兼任	林 孝三 (63) <平成27年4月> 芸術 I	兼任	林 孝三 (64) <平成27年4月> 芸術 I	兼任	林 孝三 (65) <平成27年4月> 芸術 I	兼任	林 孝三 (66) <平成27年4月> 芸術 I
兼任	服部 智行 (49) <平成27年4月> 芸術 II	兼任	服部 智行 (50) <平成27年4月> 芸術 II	兼任	服部 智行 (51) <平成27年4月> 芸術 II	兼任	服部 智行 (52) <平成27年4月> 芸術 II	兼任	服部 智行 (53) <平成27年4月> 芸術 II
兼任	崔 杉昌 (52) <平成27年4月> 教養総合 I 教養総合 III 教養総合 V 教養総合 VII	兼任	崔 杉昌 (53) <平成27年4月> 教養総合 I 教養総合 III 教養総合 V 教養総合 VII	兼任	崔 杉昌 (54) <平成27年4月> 教養総合 I 教養総合 III 教養総合 V 教養総合 VII	兼任	崔 杉昌 (55) <平成27年4月> 教養総合 I 教養総合 III 教養総合 V 教養総合 VII	兼任	崔 杉昌 (56) <平成27年4月> 教養総合 I 教養総合 III 教養総合 V 教養総合 VII
				兼任	松村 雄樹 (30) <平成28年4月> スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-6	兼任	松村 雄樹 (31) <平成28年4月> スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-6	兼任	松村 雄樹 (32) <平成28年4月> スポーツ実技 I-2 スポーツ実技 I-4 スポーツ実技 I-6

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・平成27年4月 深山つかさ助教就任辞退、後任未定。平成28年4月から専任教員採用予定。
- ・吉川豊教授に「女性Ⅲ※」「衣・食・住Ⅱ※」を追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・岸本芳信教授の「教育課程総論」を、より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業に変更。
- ・長瀬荘一講師を「教育課程総論」の担当者として追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・田中美紀子教授の「人権教育」を、より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業に変更。
- ・伊藤昇講師を「人権教育」の担当者として追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・山下俊介教授に「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」を追加。(履修者数に応じ、教育効果に配慮して担当者を追加したため)
- ・梶原苗美教授に「衣・食・住Ⅱ※」を追加。(授業内容の充実を図るためにオムニバス形式の授業とし担当者を追加したため)
- ・奥野直教授を「女性Ⅲ※」の担当者として追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・前田研史教授に「教育相談※」を追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・平成27年4月 木下由紀子教授退任、後任未定。平成27年度中に後任決定予定。
- ・佐藤浩樹准教授の「特別活動論」を、より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業に変更。
- ・長瀬善雄講師を「特別活動論※」の担当者として追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・津田理恵子氏の職位を「准教授」から「教授」に変更。
- ・下司実奈氏の職位を「助教」から「准教授」に変更。
- ・下司実奈助教の「教育心理学Ⅱ」について、教育効果を高めるため該当科目の教育実績のある教員を担当者として教職課程認定申請を行ったことに伴い、中島寛教授に変更。
- ・竹田和恵助教の「教育方法の理論と実践」を、より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業に変更。
- ・谷山優子助教の「教育相談」を、より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業に変更。
- ・松本衣代氏の職位を「助教」から「准教授」に変更。
- ・松本衣代准教授の「衣・食・住Ⅱ」を、授業内容の充実を図るためオムニバス形式の授業に変更。
- ・佐藤誓子准教授を「衣・食・住Ⅱ※」の担当者として追加。(授業内容の充実を図りオムニバス形式の授業とし、担当者を追加したため)
- ・小原依子准教授を「衣・食・住Ⅱ※」の担当者として追加。(授業内容の充実を図りオムニバス形式の授業とし、担当者を追加したため)
- ・和田清美講師に「教育方法の理論と実践※」を追加。(より充実した教育内容とするためオムニバス形式の授業担当者を追加したため)
- ・和田清美講師の「教育行政学」を、教育効果を高めるため該当科目の教育実績のある教員を担当者として教職課程認定申請を行ったことに伴い、吉泉和憲講師と藤井雅英講師に変更し、オムニバス形式の授業に変更。
- ・竹垣江梨子講師から廣岡江梨子講師に改姓。
- ・和田賢治講師就任辞退により、笹田哲男講師が「現代社会Ⅳ」を追加担当。

【平成28年度】

- ・深山つかさ助教就任辞退により、平成28年10月から専任教員採用予定。平成28年6月変更書提出予定。
- ・中山ふみ江教授の「スポーツ実技Ⅱ-A」「スポーツ実技Ⅱ-B」「スポーツ実技Ⅱ-C」「スポーツ実技Ⅱ-D」を、授業内容の充実を図るために隔年担当に変更。
- ・木下由紀子教授退任により、丸橋良雄教授に変更。
- ・重福京子准教授に「スポーツ実技Ⅱ-A」「スポーツ実技Ⅱ-B」「スポーツ実技Ⅱ-C」「スポーツ実技Ⅱ-D」追加。(授業内容の充実を図り、担当者を追加したため)
- ・谷山優子氏の職位を「助教」から「准教授」に変更。
- ・笹原秀夫講師の「コミュニケーション論(表現学)」を授業内容の充実を図るためオムニバス形式の授業に変更。
- ・北川勝利講師を「コミュニケーション論(表現学)」の担当者として追加。(授業内容の充実を図りオムニバス形式の授業とし、担当者を追加したため)
- ・吉泉和憲講師、藤井雅英講師の就任辞退により、「教育行政学」を山下晃一講師に変更。
- ・武藤美也子講師は所属大学が定年退職のため、非常勤講師から学外特別講師として招聘する。
- ・浅木森和夫講師就任辞退により、「数学Ⅱ」を澤田麻衣子講師に変更。
- ・松村雄樹講師を「スポーツ実技Ⅱ-1」「スポーツ実技Ⅱ-2」「スポーツ実技Ⅱ-3」「スポーツ実技Ⅱ-4」「スポーツ実技Ⅱ-5」「スポーツ実技Ⅱ-6」の担当者として追加。(履修者数に応じ、教育効果に配慮して担当者を追加したため)

【平成29年度】

- ・深山つかさ助教就任辞退により、平成28年10月より服部めぐみ助教に変更。平成28年7月AC教員審査済。
- ・美濃千里助教就任辞退により高橋秋絵助教に変更。平成29年1月AC教員審査済み。
- ・高橋秋絵助教を「総合実習(地域・在宅)」の担当者として追加。(授業内容の充実を図り担当者を追加したため)。平成29年1月AC教員審査済み。
- ・長瀬荘一講師の「教育課程総論」を、授業運営上の都合によりオムニバス形式から通常形式へ変更したことに伴い取消し。
- ・岸本芳信教授定年退職のため松崎隆幸教授に変更。また、「教育課程総論」はオムニバス形式から通常形式へ変更。
- ・小原依子氏の職位を「准教授」から「教授」に変更。
- ・齊山美津子教授を「スポーツ実技Ⅱ-A」「スポーツ実技Ⅱ-B」「スポーツ実技Ⅱ-C」「スポーツ実技Ⅱ-D」の担当者として追加。(授業内容の充実を図り担当者を追加したため)
- ・笹原秀夫講師の「コミュニケーション論(表現学)」を、授業運営上の都合によりオムニバス形式から通常形式へと変更したことに伴い、担当取消し。
- ・北川勝利講師の「コミュニケーション論(表現学)」を、授業運営上の都合によりオムニバス形式から通常形式へと変更。
- ・担当者変更により、澤田麻衣子講師の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」を岡田真和講師に変更。
- ・中間康浩講師は設置時の計画通り、雇用期間満了に伴い取消し。

【平成30年度】

- ・担当者変更により、野並葉子教授の「看護学概論」をオムニバス形式へ変更。
- ・担当者変更により、宇(宇)賀 昭二「医療ケアシステム論」を取消し。
- ・加堂哲治教授(兼担)退任により、「人体のしくみと機能Ⅰ」「人体のしくみと機能Ⅱ」「疾病と治療Ⅲ」「栄養代謝学」を加治秀介教授に変更。平成30年2月AC教員審査済み。
- ・加堂哲治教授(兼担)退任により、「医療ケアシステム論」を洪愛子教授に変更。また、洪愛子教授を「看護学概論」「学びのグループゼミⅠ」「学びのグループゼミⅡ」「学びのグループゼミⅢ」「学びのグループゼミⅣ」の担当者として追加。平成30年2月AC教員審査済み。
- ・川喜田恵美准教授退任により、笹谷真由美准教授に変更。平成30年2月AC教員審査済み。
- ・丸山有希氏の職位を「講師」から「准教授」に変更。平成30年2月AC教員審査済み。
- ・三苫美和助教を「ミニティ看護実習Ⅰ」「医療看護実習Ⅰ」の担当者として追加。平成30年2月AC教員審査済み。
- ・担当者変更により、山下俊介教授の「基礎Ⅱ」を西村恭子講師へ変更。
- ・梶原苗美教授定年退職により、「衣・食・住Ⅱ※」を本田まり教授へ変更。
- ・今井修平教授の「神戸学」は未開講のため取消し。
- ・梶木典子教授の「神戸学」は未開講のため取消し。
- ・長瀬善雄講師の「特別活動論」を、授業内容の充実を図るため、オムニバス形式から通常形式へ変更。
- ・小沢康英氏の職位を「准教授」から「教授」に変更。「神戸学」未開講のため取消し。
- ・林利恵子准教授の「神戸学」は未開講のため取消し。
- ・十一玲子准教授の「神戸学」は未開講のため取消し。
- ・来海素存准教授の「神戸学」は未開講のため取消し。
- ・内藤(河原)葉子講師退任により、「女性Ⅰ」「現代社会Ⅲ」を南コニー講師に変更。
- ・担当者変更により、鄭東憲講師の「朝鮮語Ⅰ-1」「朝鮮語Ⅰ-2」を李春子講師へ変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
9	2	9	8	28	11	3	8	9	31	11	3	8	9	31
(6)	(1)	(7)	(4)	(18)						[2]	[1]	[△1]	[1]	[3]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ **「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{28} = \boxed{110.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	助教	深山 つかさ	必修	コミュニティ看護実習Ⅰ	①	予定教員は当時所属していた京都橋大学の教授から慰留の打診があり、平成26年11月末に京都橋大学の教員公募に応募した。応募書類は受理され、その後予定教員から本学に対し、平成28年4月就任を辞退する旨の申し出があった。(27)							
			必修	コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)	①								
			必修	総合実習(地域・在宅)	①								
2	助教	美濃 千里	選択	公衆衛生看護活動論実習	①	教員編成計画の変更を学園及び教員等と協議したことを受け、就任辞退。(29)							
			選択	公衆衛生看護管理論実習	①								
合計(D)				後任補充状況の集計(E)									
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
2	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	准教授	川喜田 恵美	必修	老年看護実践方法論	①	H30.3.31付け自己都合による辞任(30)							
			必修	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ	①								
			必修	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ	①								
			必修	コミュニティ看護実習Ⅰ	①								
			必修	コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)	①								
			必修	学びのグループゼミⅠ	①								
			必修	学びのグループゼミⅡ	①								
			必修	学びのグループゼミⅢ	①								
			必修	学びのグループゼミⅣ	①								
			必修	課題探究	①								
必修	総合実習(地域・在宅)	①											
合計(F)				後任補充状況の集計(G)									
辞任した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
1	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
3	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{3}{28} = \boxed{10.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	—	—	必修	—	—	—							
			選択	—	—								
			必修	—	—								
2	—	—	自由	—	—	—							
			必修	—	—								
			必修	—	—								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

深山つかさ氏の後任は、平成28年4月に後任者を事務職員として採用しており、平成28年度第2回目(審査期間7月)のAC教員審査を受け、服部めぐみ氏が平成28年10月より神戸女子大学看護学部助教として就任している。また、平成30年4月就任予定であった美濃千里氏の後任者については、高橋秋絵氏が平成28年度第4回目(審査期間1月)のAC教員審査により職位の適格と担当科目可の判定を受け、平成30年4月就任予定より1年早く平成29年4月に神戸女子大学看護学部助教として就任した。

平成28年10月就任予定の教員で、かつ、担当予定科目の開講が平成28年後期のため、平成28年後期開始前の履修登録説明時に学生への周知を図る予定である。(27)

深山つかさ氏の後任者として、前述のとおり平成28年度第2回目(審査期間7月)のAC教員審査により職位の適格と担当科目可の判定を受けて、服部めぐみ氏が平成28年10月より神戸女子大学看護学部助教として就任している。

また、平成30年4月就任予定であった美濃千里氏の後任者については、高橋秋絵氏が平成28年度第4回目(審査期間1月)のAC教員審査により職位の適格と担当科目可の判定を受け、平成30年4月就任予定より1年早く平成29年4月に神戸女子大学看護学部助教として就任した。

美濃千里氏については、平成30年4月就任予定の教員であり担当科目も平成30年度開講のため履修登録には全く影響はないが、担当科目予定者を変更し、かつ、履修登録説明時に学生への周知を図る予定である。(29)

川喜田恵美氏の後任者として、平成29年度第4回目(審査期間1月)のAC教員審査により職位の適格と担当科目全て可の判定を受けて、笹谷真由美氏が平成30年4月1日付けで神戸女子大学看護学部准教授として就任した。したがって、学生の履修等には影響はなく、担当者変更については、履修登録説明時に学生への周知を図った。(30)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年5月)	<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に、上級学年の実習報告やディスカッションを聴くものが含まれているが、完成年度を迎え全学年がそろうまではそのような授業は行えず科目設定の狙いに沿った学修ができないおそれがあることから、それらの内容と同等の学修効果を得られる代替手段を講じるなどして十分な学修内容を担保できるようにすること。</p>	<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に含む上級学年の実習報告などを聴くことについて、完成年度を迎えるまでは、上級生の代替としてアドバイザー兼ロールモデルとして、臨床看護師(学外特別講師)を招聘することにより当初予定と同等の学修成果を得られる学修内容を担保する。(27)</p>	履行済
		<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に含む上級学年の実習報告などを聴くことについて、平成27年度と同様、完成年度を迎えるまでは、上級生の代替としてアドバイザー兼ロールモデルとして、臨床看護師(学外特別講師)を招聘することにより当初予定と同等の学修成果を得られる学修内容を担保する。(28)</p>	履行済
		<p>・「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」の内容に含む上級学年の実習報告などを聴くことについて、平成27年度、平成28年度と同様、完成年度を迎えるまでは、上級生の代替としてアドバイザー兼ロールモデルとして、臨床看護師(学外特別講師)を招聘することにより当初予定と同等の学修成果を得られる学修内容を担保する。(29)</p>	履行済
		<p>・完成年度を迎え、全学年がそろったため、「学びのグループゼミⅠ～Ⅲ」については、当初の予定通り、上級学年の実習報告やディスカッションを聴く内容を含んだ授業を実施し、科目設定の狙いに沿った学修を行う。(30)</p>	履行済
	<p>・文学部神戸国際教養学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>・平成27年度の入学者選抜において、歩留まり率や入学辞退者数などを考慮し、入学定員が超過することのないよう努めた結果、40名の定員に対して、36名の入学者数となった。(27)</p>	履行済
		<p>・入学者選抜において、歩留まり率や入学辞退者数などを考慮し、入学定員が超過することのないよう努めた結果、40名の定員に対して、42名の入学者数、入学定員超過率は1.05倍となった。(28)</p>	履行済

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
		<p>・設置申請時の平均入学定員超過率は1.32倍であり、これにより定員超過の是正について留意事項を付された。</p> <p>平成29年度の入学者数は40名の定員に対して55名となり入学定員超過率は1.38倍という結果となったが、直近4年間の平均入学定員超過率は1.18倍となっている。引き続き、より精度の高い歩留まり率の設定等を行い、入学定員超過の是正に努めることとする。 (29)</p>	履行済
		<p>・平成30年度は、入学定員40名に対して入学者数は76名で、入学定員超過率は1.9倍となった。推薦入試の段階で予定募集者数より若干多かったが、一般入試では想定外の歩留まり率となったことから、かなりの超過率となった。来年度以降この状況を踏まえ、更に入学定員超過の是正に努めることとする。(30)</p>	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 神戸女子大学FD・SD委員会規程（別紙を添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD委員会（H30年度第1回 H30.5開催予定、例年4,5回開催）

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SD の立案、運営及び支援、並びにFD・SD 活動の情報収集及び提供に関する事項等

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 「授業アンケート」の立案・実施およびフィードバック
- ・ 「授業の自己点検書」の立案・実施およびフィードバック
- ・ 授業公開制度の運用
- ・ 学外フォーラム等への参加と高等教育研究動向の報告 等

b 実施方法

- ・ FD・SD委員会が、すべての取り組みの趣旨および実施要項などを教授会等において報告し実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 「授業の自己点検書」の回答状況 37.8% [H29年度後期（専任教員）]

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 各教員は、「授業アンケート」の結果を受けて「授業の自己点検書」に改善が必要な課題とそれに対応した取組みを記載して、委員会に報告している。
委員会では報告結果のうち、全学で「共有」すべき内容を抽出して教授会で報告し、教員の授業改善の取組みを支援している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期および後期の授業期間に各々1回実施

b 教員や学生への公開状況, 方法等

- ・ 教員には全担当科目の結果を示し、かつ集計結果から「共有」すべき内容を教授会で報告。
学生には全授業の結果を学内ポータルサイトで公開。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部看護学科は開設4年目の完成年次を迎え、4学年共に看護学の学習に意欲を持った学生の確保が順調に進んでいる。次に本学科カリキュラムの進行が順調に進んでおり、専門知識・技術は勿論のこと、学生の対話力・自立心及び看護専門職としての自覚が育ってきていると評価している。さらに4年次を迎えて当初の予定以上の教員が揃い、看護実習を含めた教育体制、学科運営体制が整ってきている。以上より、設置の趣旨・目的は、順当に達成の方向に進んでいると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年4月1日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審した。（次期受審は平成35年度を予定）

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年7月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

神戸女子大学FD・SD委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、神戸女子大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学FD・SD委員会（以下「委員会」という。）を置き、本学における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究(FD)を実施するとともに、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修(SD)の機会を設けることその他必要な取組を行うことを目的とする。

（委員会）

第2条 委員会は、学長が教職員の中から任命する者をもって構成する。

2 委員長は学長があたり、委員長に事故があるときは、委員長が代理を指名する。

3 学長は、委員会を円滑に運営するために、FD・SD統括責任者（以下「統括責任者」という。）を置く。統括責任者は委員会を招集し、議長となる。

4 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

5 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) FD・SDの立案、運営及び支援に関する事項
- (2) FD・SD活動の情報収集及び提供に関する事項
- (3) その他、委員会が必要と認める事項

2 前項各号について審議された事項は、部局長会に報告する。

（事務）

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、委員会及び部局長会の意見を聴き学長が行う。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成29年5月11日から施行し、平成29年4月1日から適用する。